

巻頭言

「ルーツを紐解く」

公益社団法人 日本防犯設備協会 常任理事 堀之北 寿朗
(株式会社 日立産業制御ソリューションズ セキュリティ・画像ソリューション事業部
セキュリティソリューション本部 本部長)



最近、テレビで著名人のルーツを紐解いていくという番組を観た。何代も前の祖先について、本人に成り代わって、詳細に調べ上げていくものだ。

昨年末、父親が他界し、荷物を整理していたら、書きかけの「姓」の由来についての原稿が出てきた。以前、「姓について調査をしている」と話を聞いていた。原稿は未完成であったが、「堀之北」という姓が珍しいこともあり、個人的な話で恐縮至極だが、紹介したい。

父親は鹿児島県出身であるが、遡ること28年前に鹿児島の父親の実家で家系図が見つかった。どこまで事実が記載されたものか定かではないが、「堀之北」は鹿児島ではなく、相州相模国が発祥とされていた。家系図によると、そもそも祖先は源氏に属しており、戦で手柄をたて、相州相模の地で「堀之北」の土地と姓を賜ったとなっていた。

相州相模国と言っても広く、いったいどこなのか?ということになるが、33年前、私は日立製作所に入社し、配属先が神奈川工場(神奈川県秦野市)であった。その住所が秦野市堀山下1番地で、当時は「堀之北」が相州相模国が発祥と知る由もなく、気に留めることもなかった。ただ、その隣に「堀西」という地名があり、「堀北」という地名があったら面白いのにと、思ったことはあった。

家系図が発見されてから何年か経って、父親が秦野のゴルフ場で、キャディさんから「堀之北さんは秦野の出身ですか?」と聞かれたそうで、「私は鹿児島出身ですが、何故ですか?」と聞きなおすと、「この近くに昔、堀北と呼ばれていた地域があったと聞いたことがある」と言われたそうだ。

この話以来、父親は「堀之北」のルーツ探しを秦野近辺で始めることになり、私も時々、その近況を聞くことがあった。

ルーツ探しの中で、私が入社した時に入っていた神奈川工場の啓示寮(戸川にある寮)のそばに、「堀之郷正八幡宮」という神社があることを知った。何か縁があるの

ではないかとの思いから、父親は訪問したようだが、特段何かが見つかった訳ではなく、その神主さんに「秦野市の歴史変遷について詳しい人がいるので聞いてみるとよいのではないか。」との助言をもらったようだ。

この話を聞き、私も堀之郷正八幡宮を訪れてみたが、名前が近いこともあり、親近感が湧くと共に、名前の由来が気になってきた。

自分のルーツを紐解いていくと言うことは、父親も成し得なかったことであり、相当の時間を費やすことになるということが実感として湧いてきている。

堀之北の姓を賜ってから954年、初代堀之北が生まれて994年経つが、私の目標としては、初代生誕1,000年までには、家系図に記載のルーツが真実なのか探り当て、確実な物にしたいと思っている。

「堀之北」は相州相模国を発祥としているが、家系図の見つかった鹿児島県の根占に行き着くまでの、諸国漫遊を私の老後の楽しみにしたいとも考えている。

補足となるが、会員の皆様は日本全国におられるので、「堀之北」という姓に出会った際には、私の親戚であることは、ほぼ100%間違いのないのですが、私を知らないと言う人がいたら、ご連絡戴ければ幸いである。

また、皆様自身のルーツを調べてみると、新たな発見があるかもしれないので、是非一度、挑戦してみたいかかでしょうか。

ところで、当協会のルーツは1986年設立で、昨年創立30周年を迎えた。2020年には東京オリンピックもあり、その重要性は、益々高まっていく。まだ、30周年ではあるが、安全安心な社会のために、代表理事を筆頭に、会員の皆様方と協力しながら、当協会の社会的役割を果たすべく、微力ながら頑張りたいと思う。